



多様な視点が気づきを生む。  
それが、

「より良くする」への第一歩。

患者さんのお薬にまつわる「不」をなくしたい。

誰にとっても飲みやすく、誰にとっても扱いやすく。

例えば、水で濡れると錠剤の表面がゲル状になり、

飲み込む力が弱い方でも小さな力で飲み込める技術

「THRUCOAT®(スルーコート)」の開発。

より良い製品をつくるための工夫を続けること、それは

誰かにとての不便や不安を探し続けていくこと。

そのためには、多様な視点を持つことが大切だと思うのです。

その姿勢は、

お薬に関する取り組み以外にも発揮されています。

多様性と全社員の活躍を推進するプロジェクト「S-Wing」では、

あらゆる立場、部署の社員が集まって意見を述べ合い

「ジェンダーや世代を問わず全社員が

生きがいと誇りを持って活躍できる組織」をつくるべく活動中。

この実現にも、やはり社員一人ひとりの働き方に

多様な視点を持つことが大切です。

自分にとては良いと思っていたことも、

別の視点に立つことで、

これまで見過ごされていた不満や不利益に気づくことができる。

そして、気づけるからこそ、変えることができる。

それはお互いの働きやすさだけでなく、

きっと生きやすさにもつながっていきます。

お薬も、生き方も。

「より良くする」に向き合った結果、澤井製薬だからこそ、

より良い社会へ貢献できることがきっとある。

もうすぐ国際女性デー。

多様な視点を持つことで、小さな「不」に気づくこと。  
そんなことをちょっとだけ、考えてみませんか。

